



西日本豪雨災害の爪痕を覆うブルーシートが残るなか、記念写真に納まる新成人たち。14日午前、広島県呉市、上田幸一撮影

復興誓う新成人

全国各地で成人式が開かれた14日、昨年7月の西日本豪雨で大きな被害を受けた広島県呉市の天応地区でも、新成人らを祝う式典が開かれた。同地区では12人が犠牲になったが、新成人らは故郷への思いを新たにし、復興への貢献を誓った。

式典は市民公園「呉ポートピ

アパーク」で開かれ、26人の新成人が参列。豪雨の犠牲者へ黙禱を捧げた後、代表の2人が誓いの言葉を述べた。「大好きな天応が復興し、さらに魅力ある町にすることが私たちの使命と 생각합니다」と誓ったのは、呉工業高等専門学校5年の水尻舞さん(20)。豪雨では、自宅近くに住む祖母(80)宅に土石流が流れ込んだ。将来、防災関係の仕事に就きたいという。(新谷千布美)

3組女子 法学系志望

2019. 1. 15. (火) 朝日新聞より